



あかしや

～豊かなくらしを、ともに創り出す子どもの育成～

山形市立第九小学校

令和8年10月16日 No.7

発行：校長 沼澤 聡

あかしや大運動会 大成功！！

～心を一つに 思い出に残る運動会にしよう～

10月7日秋晴れの絶好のコンディションの中、『あかしや大運動会』を行いました。

今年は、九小では久しぶりの秋の運動会でした。その分、子ども達は本番に向けて、5・6年生を中心にしっかりと計画を立てて準備を進めてきました。9月の中旬以降からは、連日各係に分かれての放課後の活動も行い、自分たちの力で運動会を創り上げてきました。



今年の運動会のスローガンは『心を一つに 思い出に残る楽しい運動会にしよう』です。これは、各学級で話し合ったことをもとに実行委員が考えた、みんなの思いが詰まったスローガンです。

運動会当日は、このスローガンのように『心を一つに』の場面が、たくさん見られました。開会式での集中した姿や気合のこもった返事、最後まであきらめないで本気で競い合う姿、陣地で自然発生的に起こった応援、負けても相手のがんばりを認める拍手など、とても素敵で感動的でした。

運動会への取り組みを通して、子ども達は一段と成長したと思います。今年度の学校生活も振り返り地点を過ぎ、後半の学校生活への弾みのついた運動会になりました。

保護者や地域の皆様方には、運動会の準備へのご協力や当日のご声援、連日賑やかな放課後活動への温かい見守りなど、大変ありがとうございました。また、PTA保体整美部の方々には、早朝より会場準備や見回り等にご協力をいただきました。皆様方のご理解とご協力のおかげで、運動会を無事開催できましたことに感謝申し上げます。

赤組応援合戦



白組応援合戦



3・4年綱引き



1・2年まり入れ



5・6年全員リレー



あかしや学園第69回開校記念式を行いました

九小は、今年で開校69周年になります。これを記念して、10月14日に開校記念式を行いました。

今年の校長挨拶では、昨年度子ども達に話した開校時のことや以前の校舎の場所のことを簡単におさらいした後、校章のことについて話すとともに、開校した頃の学校文集に掲載されていた竣工記念式について書いた児童の作文を紹介しました。自分の学校について知ることと愛校心は深まります。こういう機会も大事にしながら、子ども達には、もっともっと『あかしや学園』のことを好きになってほしいなあと思います。

【校長挨拶から～一部抜粋～】

まず、学校の校章についてお話しします。校章は、こんな人になってほしいという願いが込められていたり、自分たちの学校であるという誇りを表したりなど、いろいろな意味があるので、どの学校でも大事にされています。九小の校章は、山形で有名な鋳物と言って、型に金属を流し込んで作品を作る物づくりの作家さんである、西村忠さんという方にお願いしてデザインしてもらいました。作った時の解説がHPにも載っていますが、もう少し簡単に言うと、この校章にあるアカシヤの枝や葉がみなさんです。丸くつながっているのでもなかよくしている姿を表しています。三角はとても安定した形なので、みんなががっちりスクラムを組んで九小をよりよい学校にしていきたいと思います。

西村忠さんは日本でも有名な工芸作家のひとりで、霞城公園にある最上義光像を作った人です。この像のように後ろ脚2本だけで全体を支えている騎馬像は、世界中で数えるほどしかないのだそうです。また、この像は重さが3トンもあるのですが、東日本大震災の時の大きな揺れでもびくともしなかったそうです。この有名な像を作った西村忠さんが九小の校章をデザインしてくださったのです。

もう一つ紹介します。15年くらい前までは、みんなが作った作文や詩などをまとめた学校文集というものを、どの学校でも1年間に1回作っていました。九小の文集は「あかしや」というタイトルで、図書室のカウンターの後ろに記録として保存してあります。今日はその中から、九小ができた時に行った『竣工記念式』のことを書いた作文の一部分を紹介します。65年以上前の3年生「たかはしふみえ」という方の作文です。たかはしさんの作文から、九小ができたことを祝って盛大な式が行われたこと、みなさんと同じように素直な気持ちで前向きに学校生活を送ろうとしていること、そして大切なことはいつの時代でも変わらないということがよくわかります。

今日は、みんなが知らない、そして知っておいてほしい九小のことについて、ちょっとだけお話ししました。自分の学校についてもっと詳しくなって、もっともっと九小のことを好きになってほしいと思います。そして、たくさんの先輩たちのがんばりや苦勞、大事にしてきた伝統をしっかり受け継いで、これからの九小を創ってほしいと思います。

